

UDをさがせ！

ユニバーサルデザイン



イラスト：おおばみお

**ヒント！**

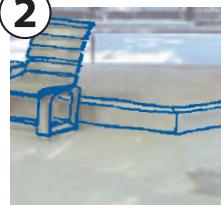
ベンチに
せ
背もたれと
ひじかけが
あるね。

①



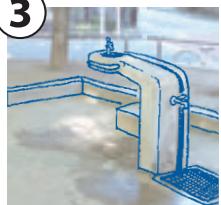
ベンチのよこが
ひろ
広くあいて
いるよ。

②



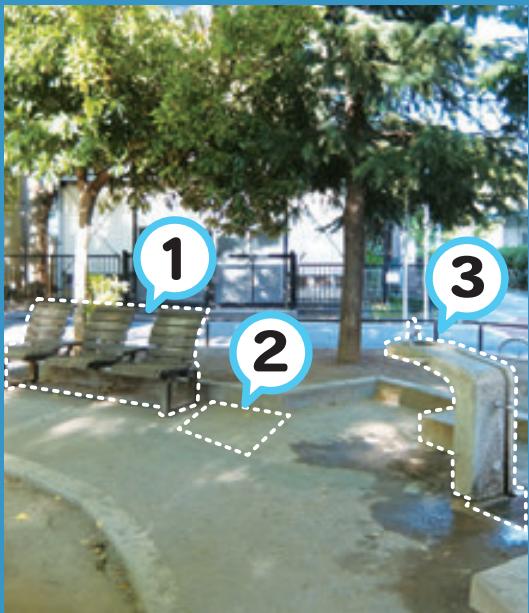
みず の
水を飲む
じゃぐちの
した 下があいて
いるよ。

③





クイズ のこたえ



いつも遊んでいる公園では、
どうかな? 書いてみよう。

かいてみよう!

1 背もたれやひじかけがついているから…

からだ やす
体をゆっくり休められる!

せ からだ
背もたれがあるから、体をさ
える力のない人もゆっくりやす
めます。また、ひじかけがあるので、
立ち上がりやすくなっています。



2 ベンチのよこが広くあいているから…

ひと
いろいろ人がいっしょにすごせる!

くるま ひと
車いすやベビーカーをベンチ
よここの広いところにならべて、
いっしょに休むことができます。
大きなにもつを置くこともでき
ますね。



3 じゃぐちの下があいているから…

くるま ひと ちか みず
車いすの人がじゃぐちに近づいて水をのめる!

くるま つか ひと みず
車いすを使っている人も水を
のめるように、蛇口の下が広く
あいています。ふみ台もあるの
で、小さい子どもでも使えます。



ユニバーサルデザインについて

まちには子どもからお年寄り、障
害者、外国人など、いろいろな人が
暮らしています。年齢、性別、言語、
障害などにより、使いづらいと感じる
ことや困っていることは違います。

「ユニバーサルデザイン」は、一人
ひとりに違いがあっても、最初から
できるかぎり全ての人が使いやすい
ように工夫して、製品や建物をつく
ろうという考え方です。

はじめて「ユニバーサルデザイン」という言葉をつかった人
ロナルド・メイス（ロン・メイス）

ロナルド・メイス（ロン・メイス）は、家や工業製品を
考える仕事などをしていました。また、車いすなどを使っ
ている障害者でもありました。こうした経験から、「それ
ぞれの障害にあわせてものをつくるより、障害があっても
なくてもみんなが使いやすいようにものをつくればよいのでは?」という発
想が生まれ、「ユニバーサルデザイン」という言葉ができました。1985年に
初めてこの言葉が使われ、1990年ごろに日本に伝わったといわれています。



ロナルド・メイス
(ロン・メイス)



ポイント

ひと ふべん
「バリアフリー」は、人それぞれの不便さ（バリア）をなくして
いくこと。これも、みんなが暮らしやすいまちをつくるために
大切な考え方だよ。



かんが
考
か
書いてみよう！

ユニバーサルデザインの第一歩は、
いろいろな人の障害や、状況を知ること。
まちの人々に、こまっていることを聞いてみたよ。
どんなふうや、気づかいがあるといいかな？



視覚障害者 のこまりごと

なれない場所だと、自分が
どこにいるのか、わからなくなってしまうよ。



目が見えないと、周りに人がいてもわからない
よ。点字を読めない人もいるよ。

くふうや、きづかいを書いてみよう！

ちょうかくしがいしゃ

聴覚障害者 のこまりごと

耳が聞こえないからと、相手が説明するのをあきらめてしまうことがあるよ。



声を出す以外に、伝える方法にはどんなものがあるかな？



くふうや、きづかいを書いてみよう！



ちてきしがい

知的障害のある子ども のこまりごと

見た目は大きくて、小さい子と同じ遊びがしたいときもあるよ。公園で遊んでいるとき、はなれていってしまわれて悲しかったよ。

イラスト：おおばみお

まちにはいろいろな人がいるね



おとしより・
足が弱い人



おなかに
赤ちゃんがいる人



けがをして
いる人



がいこくじん
外国人



ほかには…
きみたちも
いるね。



車いす使用者 のこまりごと

エレベーターに順番に並んでいても、こんでいると自分だけずっと乗れないときがあるよ。



エレベーターのほかに階段もあるけど、車いすの人は使えるかな？

くふうや、きづかいを書いてみよう！



こそだちゅうひと

子どもがトイレに行きたいときには、どこも空いていなくて、結局おもらししてしまうことがあるの。



小さい子どもの中には、トイレが苦手で、練習中の子もいるよ。



くふうや、きづかいを書いてみよう！



どうしたら、いっしょに楽しく
すごせるかな？



くふうや、きづかいを書いてみよう！



まわりにいる人の気づかいできることと、
たてものどうぐ
建物や道具のくふうできることがあるね！



前ページ 考えて、書いてみよう！の かいせつ 解説

どんなふうや気づかいがあるとよいのかは、場所によってちがうから、正解はひとつじゃないんだ。より良いくふうや気づかいを考えるヒントを教えてもらったよ。

しかくしようがいしゃ

視覚障害者 から

めみ つか えき みち じぶん
自分が見えないと、ふだん使わない駅や道では、自分
がどこにいるのかわからなくなることもあるんだ。手
がかりになる音や案内があると安心して歩けるよ。

ちょうかくしようがいしゃ

聴覚障害者 から

みみ き き こえ おと
耳が聞こえなかったり聞こえづらいと、声(音)だけ
かいわ くち おお あ
けで会話をすることができないんだ。口を大きく開け
てゆっくり話したり、大きな身振りや手振りがあつた
はな みぶ てぶ
りすると、伝えられることがあるよ。他にも、紙に文
じか しゆわ つた ほうぼう
字を書いたり、手話などで伝える方法もあるね。



おぼえておこう！
こまっていることは、人によってちがう
よ。「何かお手伝いしましょうか？」と
き
聞けたらいいね。

くるま しようしゃ

車いす使用者 から

くるま の かいだん つか
車いすに乗っていると階段が使えないから、エレ
ベーターを使うよ。エレベーターに乗るには、車いす
はい ひろ ひつよう
で入れる広さが必要なの。だから混んでいるときは、
くるま の ばしょ たす
車いすが乗る場所をあけてもらえると助かるよ。

こそだ ちゅう ひと

子育て中のの人 から

ちい こ い
小さい子どもは、トイレに行くまでおしっこやうん
おお いそ
ちをがまんできないことが多いの。だから、急いでいるときはゆずってくれるとうれしいな。最近は、子ども用トイレのある建物があって助かるわ。

ちてきしようがい こ

知的障害のある子ども から

ほかの子と同じで、遊ぶことが大好きだよ。でも、自分の体をうまくコントロールできなくて、ちょっと変わった声や動きが出てしまうこともあるよ。びっくりしないで、あたたかく見守ってほしいな。

UDをもっと知ろう！体験しよう！

保護者の方・先生へ

練馬区では、ユニバーサルデザインを体験しながら学べるイベントを行っています。

小学生ユニバーサルデザイン体験教室

区内の小学生を対象にした、ユニバーサルデザインについて体験・学習するプログラムです。講師は障害のある方、子育て中の方などです。夏休みのイベントと、学校への出張授業の2種類があります。



夏休みイベントの様子

みんなのUDパーク

点字や車いすなどの体験やワークショップなど参加型のイベントをとおして、楽しみながらユニバーサルデザインについて学べます。12月ごろ実施の予定です。



平成29年度の様子

UDをさがせ！ ユニバーサルデザインレポート

発行日：平成30年(2018年)3月

編集：(公財)練馬区環境まちづくり公社

発行・問合せ：練馬区福祉部管理課

みどりのまちづくりセンター内

TEL：03-5984-1296 / FAX：03-5984-1214

ユニバーサルデザイン推進ひろば

ユニバーサルデザイン推進ひろばでは、ユニバーサルデザインやバリアフリーのまちづくりに関する資料の閲覧や貸出、ユニバーサルデザイン製品の展示を行っています。お気軽にお立ち寄りください。

